

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目 基本構想	01	重点政策「教育」	問	担当課(室)
	中項目 基本計画	01	将来を担う人材が育つまち		学校教育課
	小項目 施策	03	小・中学校教育の充実		職・氏名
事務事業名		15	特色ある学校づくり推進事業	合	電話
				先	64-1840
				このシート作成に要した時間 1.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市内幼、小、中学校、高等学校		
目的(何のために)	学校、園における総合的な学習の時間や生活科等における創意ある取組や、地域を知り、地域を愛する心を育成する教育活動の支援等、学校園の特色ある教育活動の推進を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域人材や地域の教育力積極的に活用し、各学校園が特色ある学校づくりに向けた取組を主体的に展開することができる。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	離島教育振興事業	交流学习に必要な交通費等の支出により、学習活動の円滑な実施を図る。	○
	特色ある学校づくり推進事業	交流学习や体験学習に必要な教材、講師謝礼、交通費等の支出に係る補助金の支出により、各校園の特色ある活動を支援する。	◎

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	直接事業費	千円	4,769	4,981	4,852
	必要人員費	人員件数	千円	0.02人	0.02人	0.01人
	事業費	計	千円	4,979	5,132	4,969
	財源	国	支出金			100
		受	益者負担			
		繰	入金			
市	一般財源	千円	4,979	5,032	4,969	
受	益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	特色ある学校づくり推進事業取組校	校	28	28	28
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	4,520,000	4,442,000	4,427,000
	単位当たりコスト		161,429	158,643	158,107

事業の成果		Check				
事業実施率	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目	標値(A)	100%	100%	100%	100%
	実	績値(B)	100%	100%	100%	到達目標値
達成率(B/A)			100.00%	100.00%	100.00%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明						
事業実施校数/市内学校数×100(%)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
			市民ニーズ <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	手段	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
			目的達成度 市民参画度	B	

進行年度(H26年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 ○
説明	予算的には前年度と同額で実施している。事業の趣旨の徹底を図り、学校からの計画書を精査し、適正な予算執行の観点から指導を行う等、毎年査定を行った上で実施している。

総合評価		Action	
学校園が特色ある教育活動を推進するための中核の事業である。学校からの評価も高い。本事業により、郷土を愛する力を育む心の育成も図ることができると考える。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B

平成27年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 ○					
取組目標	学校園の教育活動充実のためには事業拡充が理想であるが、各校の事業計画については、まだ指導の余地が有り、現段階では現状維持の予算規模で実施することが適当であるとする。学校の主体的・意欲的取組に対しては積極的な支援を考えていきたい。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな